



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和4年1月20日
文責：校長 江上 知男



マスク着用で感染対策と学習の両立(3年)

3回目の「まん防」適用です！

それにしても、何という感染力の強さでしょう…。お正月まで0人だった県内の新規感染者は、昨日(1/19)には711人となり、昨年5月及び8月以来3回目の「まん延防止等重点措置」適用が決定しました。

16日に予定していました「PTAリサイクル活動」は急遽中止となり、連絡については区長さんをはじめ関係の方々大変お世話になりました。また、今月末に予定していた授業参観及びPTA研修会を中止せざるを得なくなりました。3学期の様々な行事に関しても、実施を検討

中です。学校は、「クラスターを発生させないこと(子どもに『感染源になったという傷』を負わせないこと)」を念頭に、懸命に感染防止対策(以下・1/13発出)に取り組んでいます。

<第6波において特に強化する学校の感染防止対策>

- 1 校舎内でのマスクの着用及び健康観察(1日2回)の徹底。
- 2 給食時の「黙食」及び食事場所の分散(3年生及び6年生)の徹底。
- 3 授業時間の換気の徹底、間隔の確保及び子ども同士の交流の制限。
- 4 複数の学年が集まる集会及び保護者が集まる行事等の制限または中止。

<家庭と学校が連携させていただくこと>

- 1 登校前に必ず検温・体調確認をするとともに、「体調確認表」の提出をお願いします。
- 2 「本人の発熱・体調不良」及び「リスクレベル2以上時の同居家族の発熱・体調不良」等がある場合、自宅待機をするとともに学校への相談をお願いします(現在リスクレベル2)。
- 3 登校時から、マスク着用の徹底をお願いします。
- 4 学校へは、予備を含めて複数マスクの持参をお願いします(可能であれば、感染防止の効果が高いとされる「不織布マスク」にしていただければありがたいです)。
- 5 本人及び同居家族が、「PCR受検」「濃厚接触者に特定」等になった場合、学校に必ず連絡をお願いします(学校は「守秘義務」を履行しますので、安心してお知らせください)。

「勉強することが何の役に立つのですか？」 以前担任をしていたとき、子どもたちによく聞かれました。未熟だった私は「世の中に出て困らんためたい!」と答えながら、「つべこべ言わんで手を動かさんか!」とでも言ったのでしょうか…。保護者の皆さんなら、何と答えられますか。

先日、1年生の補欠授業に行って、子どもたちと担任が準備した計算のプリントをしていました。みんなやる気満々で、シーンと張り詰めた雰囲気に取り組んでいます。しばらくすると、「わかりません」と質問に来る子もいました。すると、ある子が「先生、どうやったらわかるようになるんですか?」と質問してきました。私はハッとしました。「勉強をする理由」がそこに込められている気がしたからです。

勉強の意味については、「人の役に立つため」「将来役に立つスキルを磨くため」等々が言われます。でも私は、1年生が教えてくれたように「どうやってわかるようになるかを学ぶため」だと思うのです。

社会に出たときに、人は様々な壁にぶつかります。それを克服するために、自分で予想したり、調べたり、人に聞いたり、まねしたりしながら答えを見つけていきます。その方法は誰も教えてくれませんので、それまでの学校生活等で経験した「わかるための方法」を活用するしかありません。…とすれば、学校生活は楽しいだけでなく、たくさんの悩みや困りごともあったほうが、将来の役に立つのかも知れません。子どもから質問を受けたとき、すぐに教えるのではなく「一緒に考えることを大事にしたい」と思っています。